

## 新たな学校への物品の継承について

これまでの推進協議会では、新たな学校に引き継ぎたいもの・ことについて検討を行い、基本的な考え方及び継承・保存等の方向性、方法等を決定しました。今年度は、決定した方法等に基づき物品の継承について具体的に検討を行います。

### 1 物品の継承方法について

昨年度までの推進協議会での検討を踏まえ、先行している他地区の事例を参考に、原則はメモリアルコンテンツとしてデジタル保存することとしました。一方で、これまでの協議会の中で現物を残したいという意見があったものは、新校舎の設計を踏まえて現物保存の検討を行います。

#### (1) これまでの検討について

①教育活動への利用ができるか、②学校施設の面積などから保管にあたって教育活動に支障をきたさないか、③他施設等の物品で代替ができないか、④物品の移設費用が確保できるかという4つの視点に基づき、これまでの協議会で整理した物品の継承方法は以下のとおりです。

継承方法		物品の例
ア	移転	校歌板 等
イ	デジタル保存	卒業制作、石碑、けやき以外の樹木 等
ウ	現物保存	けやき、賞状、写真 等

#### (2) デジタル保存について

作成するメモリアルコンテンツは以下の3点を予定しています。

コンテンツ種類		内容
ア	360° パノラマ VR ツアー	学校敷地内を20箇所、360°カメラで撮影し、閲覧できるコンテンツ。
イ	プロモーション動画	無人航空機を用いて学校敷地内を撮影した、学校全体の雰囲気を感じることのできる動画。
ウ	思い出フォトアルバム	通常のカメラで撮影した画像を最大50枚表示するコンテンツ。(学校にて撮影)

<参考 他地区で作成したメモリアルコンテンツ>

南成瀬小360°パノラマVRツアー画面



## (3) 現物保存について

現物として保存したい物品については、これまでの協議会等での検討を踏まえるとともに、今後、地域に古くからお住まいの方などのご意見も参考にしながら保存する物品や方法を決定します。

## 2 今年度の進め方

デジタル保存の撮影は2026年度夏休みを予定しています。撮影する場所の選定については、まず児童へのアンケートを実施します。その結果を踏まえ、11月の推進協議会にて検討を行い、撮影場所を決定します。

また、現物保存対象の物品については上述のとおり、これまでの推進協議会の場での議論も踏まえて、今年度はさらに広く地域の方々へのヒアリングを行います。

なお、寄贈物品については、今後引き取りを希望する方への周知・呼びかけを行います。

	2025年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
推進協議会								●			●	
デジタル保存						児童への アンケート・集計		撮影箇所検討			決定	
現物保存	地域の方へのヒアリング											
寄贈物品								周知・呼びかけ				